

今月の福祉

多久市地域包括支援センター（おたっしや本舗多久）は高齢者のみなさんが、住み慣れた多久市でいつまでも元気で安心して暮らしていけるように高齢者の生活をあらゆる面から応援する総合相談機関です。

生活の中で「困ったなあ」「どうしよう」と思うことがあったら、まずご相談ください。

多久市地域包括支援センター
（多久市役所 福祉課内）

問 ☎75-6033

いつまでも元気で長生きを

No.10

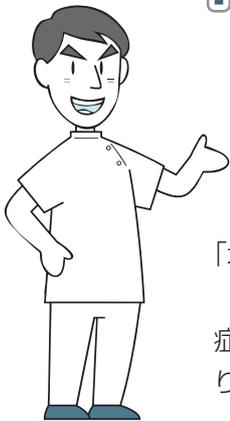
高齢者に多い病気とその対策

歳を重ねてくると若い頃に比べ、からだの状態が大きく変わってくるため、同じ病気でも症状の出方が違ってきます。たいした症状とは思えなくても、それが大きな前ぶれの場合もあります。からだの調子が悪くても「年のせい」と軽く考えるのではなく、病気には早め早めに対処しましょう。

気をつけて！

はく ない しょう
白内障

眼の中のレンズが濁り
遠・近ともに物がかすんで見える



眼の中でレンズの働きをしている「水晶体」が濁る病気です。

目がかすむ、視力が低下するなどの症状が現われますが、失明の危険はありません。



どんな症状が現われるの？

- ・ 遠い・近いに関係なく物がかすんで、霧がかかったように見えます。
- ・ 物が二重・三重に見えます。
- ・ 特に屋外（明るいところ）に出ると、まぶしく感じます。

診療科はどいつ？

眼科を受診してください。

治療の方法は？

- ・ 日常生活に支障がないうちは、メガネで矯正したり、病気の進行を抑える目薬を使います。
- ・ 病気が進んだら、水晶体を取り除いて人工のレンズを入れる手術をします。

ここに注意

水晶体の濁る主な原因は加齢・老化ですが、ほかの病気が原因となっていることもあります。目のかすみや視力の低下などの症状がでたら、詳しく検査してもらうことも必要です。



この病気にも気をつけて！

緑内障

徐々に視野が狭くなり、
最後は失明も…

水晶体と網膜を結ぶ神経が傷んで、視野が狭くなっていく病気です。放っておくと失明する恐れがあります。病気が進んでも自覚症状が現われにくく、単なるかすみ目などと思ってしまうことも多いため、注意が必要です。

目が重い、疲れやすい、なんとなく目のまわりがうっとうしいなどの症状に気づいたら、早めに専門医にかかりましょう。